

令和7年度 第1回 東京・神奈川・千葉地区6国立大学法人
公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和7年11月12日（水）13：00～14：30 オンライン会議	
委 員	委員長 蟹澤 宏剛（大学教授） 委 員 清水 幹裕（弁護士） 委 員 竹内 啓博（公認会計士）	
審議対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
抽 出 案 件（合計）	9 件	（備考） 資料7 個別審議案件一覧表に基づき、各大学の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
建設工事（小計）	7 件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	6 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルティング業務（小計）	2 件	
簡易公募型プロポーザル方式（拡大）	1 件	
一般競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問 別紙のとおり	回答 別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
議事1. 東京・神奈川・千葉地区6国立大学法人における発注状況等	
①東京・神奈川・千葉地区6国立大学法人において発注した建設工事について	
(事務担当より説明)	
・特になし	・特になし
②東京・神奈川・千葉地区6国立大学法人において発注した設計・コンサルティング業務について	
(事務担当より説明)	
・特になし	・特になし
③報告遅延について	
(事務担当より説明)	
・特になし	・特になし
④指名停止等の措置状況について	
(事務担当より説明)	
・特になし	・特になし
議事2. 個別審査	
①審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について	
(事務担当より説明)	
・特になし	・特になし

意見・質問	回答
②建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について	
1) 一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【東京海洋大学（館山）実験研究棟改修電気設備工事】	
入札に参加しなかった業者は材料不足で参加しなかったのか。	入札に参加しなかった業者に確認したところ、材料の入手が困難であったこと、他案件を優先した結果、本件への参加が困難であったことが理由であった。
1者応札は増えているのか。	工事の内容にもよるが、増えている。
参加要件では図書館や庁舎の実績でも可としているが研究棟の電気設備工事というのは特殊な電気工事ではないか。	今回は一般的な電気設備工事であるため、図面どおりに施工できれば特殊な技能は必要ないことから、参加実績の用途を広げ、図書館や庁舎等の工事実績でも可とした。
2) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型）） 【お茶の水女子大学大学本館外壁改修工事】	
業者側が見積積算の結果、十分利益が出ると見込んだ結果として低入札になったのであれば、予定価格が高すぎたということはないか。低入札の要因として何が考えられるか。	低入札の要因として、1点目は工期が夏休み明けの9月から12月末に設定されていたため、人員に余裕のある業者が参加してきたこと、2点目は本工事を週休2日促進工事として積算したため、予定価格積算の際に市場単価や労務費の補正を行い、金額が上がったことが考えられる。入札してきた業者はそのあたりの補正を考慮せず、積算したものと考えられる。
総合評価として標準点に加算点を加えることで、2番目に入札価格が低い業者が逆転して落札業者となっているが、何の差があったのか。	工事実績の違いとなっている。
工事実績によって入札結果を判断した場合は、判断の根拠資料をつけていただきたい。	承知した。
3) 一般競争入札（最低価格落札方式） 【横浜国立大学（常盤台）経済学部新研究棟等照明設備改修工事】	
低入札の理由として、企業努力で資材を安くできたということか。例えば当時現在進行形で学内で工事をしていた等のような事情があったのか。	落札業者との本学との契約は本工事が初めてであったが、資材を相当安く調達することができたと聞いている。
4) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型）） 【総合研究大学院大学（葉山）図書館太陽光発電設備更新工事】	
応札辞退業者の辞退理由は何か。	確認できていない。
次回以降のためにも今後は辞退理由を確認した方がよいと思う。	承知した。
5) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型・施工体制確認型）） 【千葉大学（西千葉）工学部7号館改修工事】	
1回目の入札で入札率が99%以上になった要因は何か考えられるか。	予定価格作成の際に、専門業者の見積に対する査定は昨今の実績から決めているということと、昨今の物価高騰の中で細かくヒアリングを行った結果、市況価格に近い予定価格となったと考えられる。
6) 隨意契約（指名競争入札） 【東京工業大学（大岡山）附属科学技術高等学校校舎新設機械設備工事】	

意見・質問	回 答
辞退した業者の辞退理由は何か。	令和5年9月5日開札では、1者は技術者の配置が困難であったこと、もう1者は予定価格の折り合いがつかなかったため辞退した。 令和6年3月5日開札(再公告)では、1者は積算金額に対する施工体制の構築が困難であったこと、もう1者は設計内容の一部が積算困難であったため辞退した。
7) 一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【東京医科歯科大学（湯島）3号館14・15・16階北側空調設備更新工事】	
特になし。	特になし。
8) 簡易公募型プロポーザル方式（拡大） 【東京科学大学（すずかけ台）基幹・環境整備（土砂災害対策）設計業務】	
評価項目の「ワーク・ライフ・バランス等の取組に関する認定状況」はどのような基準で加点されるのか。	国で定められた、ワーク・ライフ・バランス等の取組に関する制度で認定書を示した業者に対して加点するものである。
応札が1者のみであった理由は何か。	ホームページに掲載した資料は6者からダウンロードがあったが、参加申請は1者のみであった。理由は確認していないが、条件が合わなかつたものと思われる。
9) 隨意契約 【千葉大学（医病）にし棟等改修実施設計業務】	
基本設計と実施設計があるが、この改修工事に対する基本設計という意味なのか。	本改修工事に係る部分の基本設計となる。
基本設計と実施設計が分かれるケースは病院等の一定の規模の大規模改修工事ではよくあるのか。	病院は再開発計画もあるため、まずは基本設計として全体の計画を検討した上で、個別の実施設計に入っていくパターンが多い。
「競争に付すことが不利と認められるとき」に該当すると判断したため随意契約したのか。	基本設計業務の公告の際、「当該業務に直接関連する他の業務の契約を当該業務の契約の相手方と随意契約により締結する予定がある」として公表した上で委託していたため、随意契約した。

意見・質問	回答
議事3. その他	
①再苦情処理会議への申立状況	
(事務担当より説明)	
・特になし	・特になし
委員講評	
特に問題なく適正に行われていると結論した。 今後、改正建設業法が施行され、労務費の考え方も従来から変わってくる等不確定要素が出てくると思われるが、引き続き適正な工事価格と品質の確保に努めていただきたい。	